

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

JAMシニアクラブニュース

第166号

発行日 2021年10月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

「村田きょうこ」さんJAMシニアクラブ訪問

ものづくり政策推進、安心の社会保障制度の確立、
公平で納得性のある税制等の決意を語る

9月28日、来年の第26回参議院議員候補予定者村田きょうこさんが、JAM本部を訪れ、シニアクラブ大山会長をはじめ、事務局のメンバーと交流・懇談を行いました。

納得性のある税制など、働く人、生活する人の目線に立つて政策をつくり実現することの決意を語られました。元気鋭刺で気さくな人柄。ニッケネームは「きよんきよん」。好きな言葉は「笑う門には福来る」だそうです。基幹労連組織内候補ですが、JAMの代表として、国会で活躍してもらうために、我々シ

ニアクラブも精一杯頑張ります。村田きょうこの6大政策
☆産業・企業の発展
みんなの雇用を守り、充実した仕事が出来よう、産業の課題を解決します。
☆大切な人の命や健康を守る社会
自然災害に強い防災体制と感染症に備えた医療体制を整備



コロナの闘いは、人類未踏の闘いです。世界の感染者2億3千万人を超え、死者475万人を超えた。日本の感染者は169万人を超え、死者は1万7千人を超えました。自宅・施設療養中8月末までに200人を超す人命が奪われました。

8代目、吉野副会長(JAM副会長)10月選出予定。連合に結集する組合員、退職者連合に結集する人、未組織の勤労者、生活防衛のため国会に多くの衆・

中央・地方一体で

組織の拡大へ

岐阜シニアクラブ会長 北村務

主張



道され、保健所の充実も大きな課題です。連合会長

参議員を送ることが重要な運動です。JAMシニアクラブは2001年結成、2123名で発足。2021年7月236名。過大な目標を掲げています。

現状は、拡大する人員より、亡くなった方も含め人員の減少に歯止めがかかりません。シニアクラブは現役の協力のもとOB組織に関する単組アンケート(2020年10月23日報告)をとりました。その中で明るい展望が見えています。①OB会組織結成予定単組2単組 ②結成を検討中、なんと80単組 ③会員が増加している組織、20% このように多くの仲間がいます。本部役員で、組織担当を設置。さらに予算を計上し、本部と地方が一体となり組織拡大に本気度を示す大きなチャンスだ。今年度中になんとしても、2単組加入を至上命題として努力をお願いいたします。

し、安全度と、安定した年金制度を実現します。

☆仕事と子育て・介護の両立
誰でもが働きながら子育てや、介護ができる環境を実現します。

☆公平で納得性のある税制
働く人、生活者の視点に立った税制を実現します。

☆政治をもっと身近に分かりやすく政治を伝え、みんなにとって身近で、信頼のできる政治を実現します。

今度こそ、我々の代表を国政に

基幹労連シニアクラブ会長 兼子昌一郎

第26回参議院議員比例代表候補予定者「村田きょうこ」を共に支援する基幹労連シニアクラブから連帯のメッセージを頂きました。御紹介致します。

過去三度我々は現役とともに参院選を闘ってきましたが、政治の場に代表を送り出すことができませんでした。政治への信頼感が全く失われており、現役世代の投票率は過去最悪の状況にあります。現役組織も懸命に取り組んでいますが、喪失した信頼感のもと無関心の壁は厚く高いと言えます。政治を見捨てていないシニア層の動き

が政治を変える大きな力になることは明らかです。村田きょうこ候補は、10年にわたり柳田稔参議院議員公設秘書として基幹労連と政治をつなぐ役割を果たしてきています。どんなに良い政策を作っても、賛同する議員が少なければ実現できない場面を何度も秘書として見てきたからこそ、自分が議員になって現場の声

が込められた政策を実現したい思いを強く持ち、働くものの立場・ものづくりの大切さがわかる我々の代表に相応しい候補者だと断言できます。与党の圧倒的な強さの局面にあっても、基幹労連・JAMの要請を受け入れてチャレンジする志と熱意を無にするわけにはいきません。基幹シニアも、「村田きょうこ」の浸透に全力を尽くす決意です。伝えれば我々の仲間はわかってくれます。共感をもって支援してきましょう。



連合会長に JAM出身の **芳野友子** さんが就任

連合は10月6日第17回定期大会を開き、とつての必要な人材 JAM出身の芳野友子副会長(JUKI労組・JAM東京千葉)を第8代連合会長に選出しました。JAMからの連合会長選出は初めてで、歴代最年少、また初の女性会長となりました。芳野新会長は「これまで、男女平等・ジェンダー平等を中

心に活動。労働界に1988年に中央執行委員に就任、以降、2010年からは中央執行委員長に、JAMでは2007年に中央執行委員となり、現在副会長をされています。我々JAMシニアクラブも、現役と一緒にJAM出身の芳野会長を支えていきましょう。

京都

書面審議の総会

政策研修会、交流行事の再開を目指して

京都シニア通信員 伊藤忠男

今年の定期総会は9月10日を予定していたが第5波のコロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言の最中になってしまったことから、書面審議・書面議決という、会の結成以来初めてとなる方法をとることになった。8月末に議案書と書面議決書を代議員に郵送、9月15日を締め切りとして代議員個々の判断を返送してもらった。書面審議の結果は代議員12名全員賛成となり、結果を三役が確認して今年度の活動方針・予算が承認された。主な内容は以下の通り。

- 一、会員の新型コロナウイルス感染症防止を最優先とし、諸行事の開催有無、規模形態を判断する。
- 二、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により医療体制や保健所をはじめとする住民サービス等、政策にかかわる問題が顕著になった。
- 三、社会保障の充実を求め「将来にわたって信頼と安心ができる年金、医療、介護、認知症対策の確立」を中心とした政策制度要求に取り組み。
- 四、会員の拡大を目指し、現役労組への機関紙の配布や訪問、各種委員会への参加を軸に退職者組織とその活動の周知を図る。
- 五、グランドゴルフ・囲碁・将棋をはじめとした会員の交流行事の開催。
- 六、JAMシニア・京都退職者連合行事との連携。
- 七、会員のほとんどが2回目のワクチン接種を済ませた今年度は、世の中の状況を横にらみしながらにはなるだろうが政策研修会および交流行事の再開を目指したい。